

塗装が早期に劣化する理由—第4部

高所では鋼材は決して適切に下地処理されない— 作業者は自分の身を守っているのだ

片手は作業のため。片手は命のため。鋼材に回されるのは余った手だけ。

足場はあるかもしれない。だが高所の作業者は工具に体重をかけられず、両手で握ることもできず、ブラスト処理もできない。彼の最優先事項は落ちないことだ。下地処理に残されるのはわずかな余力だけ—それでは決して足りない。

高所で下地処理が失敗する理由

片手は常につかまっている。スケール除去には両手と体重が要る。工具は錆の上を滑るだけだ。

ブラスト処理は高所に上げられない。反動、ホースの重み、稼働中プラントへの吹き返し。最良の下地処理方法が、最悪の鋼材には決して届かない。

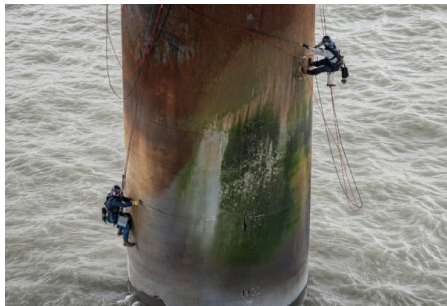
足場の確保が仕上がりには勝る。揺れる通路や風にあおられる塔の上では、意識はバランスに向く—ピットには向かない。

届く範囲は狭く、時間はさらに短い。一つのアンカーに固定された作業者は、手が届く範囲だけを清掃する。残りは拭くだけだ。

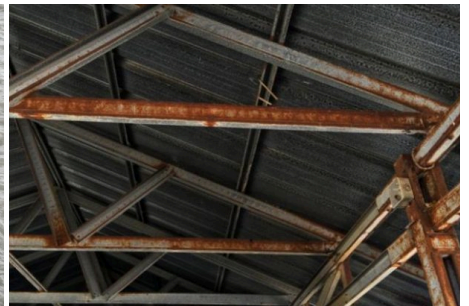
高所は人の体力を急速に奪う。下地処理こそが最も疲れる作業だ—だから真っ先に省かれる。



片手は作業のため、もう片手は命のため



工具に体重をかけられる足場がない



結果: あらゆるピットに錆が残ったまま塗装される

塗装が失敗する理由

中途半端に下地処理された鋼材では、塗料は金属ではなく錆に密着する。錆は成長し、塗膜は持ち上がり、一シーズンで塗装は失敗する—しかもそれは、やり直しが最も困難で最も危険な高所だ。そして作業者は再び上り、同じ妥協した作業を繰り返す。

高所での答え—安全な作業を効果的な作業に変える

Z 704 RUSTEX – NMBに力はいらない。浮いたスケールを拭き取り、ハーネスから片手でハケ塗りするだけ。作業者にできないことを、この化学反応がやり遂げる—あらゆるピットの底まで錆を変換し、上塗りを何年も密着させる。安全に発揮できるわずかな力が、長持ちする下地処理になる。詳細はこのページ横のZ 704フライヤーを参照。

最も高い場所の鋼材で証明します

高所にある錆びた箇所を一つお選びください。安全な片手でどう適切に下地処理するかをお見せします。無料です。

sales@stanvac.com ・ +91-8527199811